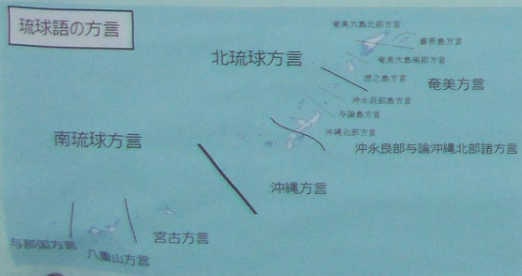


沖縄の方言

琉球方言

琉球語もしくは琉球方言は、日本の沖縄県と鹿児島県奄美群島で用いられる言語である。また琉球語内部でも地域差が著しいため、諸言語の集合として琉球諸語あるいは琉球語派と呼ぶ立場もある。本項では、言語説と方言説の両論を考慮して、琉球語、琉球方言と併記する。

1429年、尚巴志王の三山統一により、琉球王国が成立したと考えられている。1853年5月に黒船が那覇に来航し、ペリーが首里城に入って開港を求めた。翌年にも来航し、那覇が開港した。1879年3月27日に首里城明け渡しを命じ、4月4日に王統の支配は終わった。



イン：犬 大抵は「インぐわー」と呼ばれる。

マヤ：猫

ユーフル：風呂

ウマンチユ：みんな 「みんなて」 ある

いは 「みんなの」 という意味で、副詞であるいは形容詞的に使われることが多い。

沖縄弁

琉球王国の時代から続く琉球語の中で特に沖縄諸島中南部で使用されている。

フラビー「子供」 チュー「今日」

ゲレニカ？「バカなのカ」

イガリ「東」 イリ「西」

ハイサイ「こんにちは」

チャー「いっせ」

感想

名古屋弁と違、て沖縄弁・琉球方言は言葉が難しくてももしろが、た。